

とよの



議会 だより

祝 成人

はたちのつどい

令和7年1月13日
町立ユーベルホール

第 152 号

令和7年(2025年)1月25日発行



10 月会議報告

令和6年10月22日

10月会議は、10月22日に開催しました。提出された案件は6件（報告2件、人事1件、条例改正1件、その他2件）でした。本会議で審議し、採決しました。

報告			
9号報告	専決処分の報告 和解及び損害賠償の額を定めることについて	令和6年7月5日、吉川中学校ソフトボール部の打球が光風台小学校駐車場に駐車している車にあたり損害を与えたものです	
10号報告	専決処分の報告 令和6年度一般会計補正予算	衆議院議員総選挙および最高裁判所裁判官国民審査の費用です	
条例改正			
46号議案	税条例の一部を改正する条例	用途変更のあった宅地等に係る負担調整措置を令和3年度分から令和8年度分まで適用するものです	全員賛成 可決
その他			
47号議案	動産の取得について（追認）	令和2年度分	豊能町立小学校の教師用教科書等の取得について、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例に規定する動産の買入れに該当したことから、議会の議決を求めるものです
48号議案	動産の取得について（追認）	令和6年度分	全員賛成 可決

12 月定例会議報告

令和6年12月2日～12日

令和6年12月定例会議は、12月2日から12日までの11日間の日程で開催しました。提出された案件10件（報告1件、条例改正3件、条例廃止1件、補正予算4件、人事1件）を各常任委員会で審査したのち、本会議で採決しました。また、追加議案8件（条例改正3件、補正予算4件、議会議案1件）は、本会議で審議、採決しました。

報告			
11 号報告	専決処分の報告 和解及び損害賠償の額を定めることについて	令和 6 年 10 月 15 日、光風台 2 丁目のデイリーカーナートイズミヤ駐車場において、職員が運転する公用車が相手方の所有する車両に接触し損害を与えたものです	
条例改正			
49 号議案	税条例改正	公益信託制度の創設に伴い、所要の改正を行うものです	全員賛成 可決
50 号議案	国民健康保険条例改正	急患等の被保険者に係る保険料の徴収猶予の期間を定めるために所要の改正を行うものです	全員賛成 可決
51 号議案	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例改正	個人番号を利用することができる事務に乳幼児等の医療費の助成に関する事務等を追加するため、所要の改正を行うものです	全員賛成 可決
57 号議案	一般職の職員の給与に関する条例改正	国において行われる一般職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、所要の改正を行うものです	全員賛成 可決
58 号議案	特別職の職員の給与に関する条例改正	国において行われる一般職の国家公務員等の	特別職の期末手当の支給月数の改定を行うものです
59 号議案	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例改正	期末・勤勉手当に関する措置内容に鑑み	議会議員の期末手当の支給月数の改定を行うものです
			賛成多数 可決

条例廃止			
52 号議案	国民健康保険事業財政調整基金条例廃止	国民健康保険事業財政調整基金の全部を取り崩したことに伴い、当該基金を廃止するものです	全員賛成 可決
補正予算			
53 号議案	令和 6 年度一般会計補正予算（第 5 回）	主な事業は、人事異動に伴う人件費の補正、財政調整基金への積み立て、地域公共交通促進事業（A I オンデマンド交通）等です	賛成多数 可決
54 号議案	令和 6 年度国民健康保険特別会計事業勘定補正予算（第 1 回）	保険給付費が当初予算を上回る見込みのため補正するものです	全員賛成 可決
55 号議案	令和 6 年度国民健康保険特別会計診療所施設勘定補正予算（第 2 回）	人事異動に伴う人件費の補正の費用です	全員賛成 可決
56 号議案	令和 6 年度介護保険特別会計事業勘定補正予算（第 2 回）	令和 5 年度分の剰余金を積み立てるものです	全員賛成 可決
60 号議案	一般会計補正予算（第 6 回）	57 号～ 59 号議案に係る人件費の補正です	全員賛成 可決
61 号議案	国民健康保険特別会計事業勘定補正予算（第 2 回）		全員賛成 可決
62 号議案	国民健康保険特別会計診療所施設勘定補正予算（第 3 回）		全員賛成 可決
63 号議案	介護保険特別会計事業勘定補正予算（第 3 回）		全員賛成 可決
議会議案			
5 号議会議案	A I オンデマンド交通実証実験に係る付帯決議	3 回目の実証実験に際し、車両所有者の明確化と広報費用の減額を求めるものです	賛成多数 可決

インターネット放映と録画配信



豊能町議会では、12月定例会議から、本会議・一般質問に加え、常任委員会・特別委員会もインターネットによるライブ配信・録画放映をしています。



令和6年豊能町議会 12月定例会議 総務建設常任委員会（付託議案の審査）

豊能町環境施設組合
議会議員

欠員による選挙の結果
池田 忠史 議員
を選任しました

12月定例会議 第3号諮問
人権擁護委員

まつかぜ よしこ
松風 佳子さん
（東とぎわ台）
を推薦同意しました

10月会議 第45号議案
教育委員会 委員

ますだ ゆかさん
増田 ゆかさん
（川西市）
を任命同意しました

人事

町議会議員の訃報

川上勲議員（76才）におかれましては、令和6年10月29日（火）にご逝去されましたのでお知らせいたします
ここに哀悼の意を表し、謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます



総務建設 常任委員会

12月5日開会
委員5名全員出席

税条例改正

(全員賛成 可決)

一般会計補正予算 (第5回関係部分)

問 地域公共交通促進事業の費用の内訳は。

答 阪急バスに車両の車検・ナンバー変更、利用

ガイドの作成・広報、ミーティングポイントの設置・撤去、システム運用

費及び管理費です。京都タクシーに運転士の人件

費及びコールセンター運営費になります。

問 KPI検証をするために1か月だけ運行する

のか。

答 国の交付金を受けたスマートシティ事業で、

条件としてKPIをとる必要があります。今回は

実装に繋げられるかどうかを見極めるための最後の

検証と考えています。

問 わずか1か月間の運行でガイドブック作成費用

53万円は高い。前回の冊子を保存版として変更

箇所だけ訂正すれば良いのではないか。

答 前回作成した冊子も再利用し、アプリのQR

コードやミーティングポイントなど必要最低限のもので経費を抑え、広報

していきます。

問 車検の費用が入っている。この車両は誰のものなのか。

答 阪急バスと協議中ですが、仮に本町の所有となった場合の必要経費を

計上しています。

問 前回の実証運行の結果から、一乗車約2万円

となる。費用対効果は考

えているのか。

答 今後、実装する際には十分に考慮し、町内の交通網について整理、検討していきます。

問 1か月の運行で1千500万円の支出は厳しいと考えるが、阪急バス

や京都タクシーと協議し、長期計画を図れないのか。

答 令和6年3月に策定の地域公共交通計画には

AIオンデマンドバスについて、実証運行しながらのよう

に、実装につなげていくかを検討することが入っています。

今後も、交通事業者や地域の方々とともに、公共交通が維持できるよう協議していきます。

問 京都タクシーへの人件費が1か月で166万9000円だが、妥当か。

答 1日の貸切運賃の見積もりです。近隣自治体でも同様の経費で算出されています。

(賛成多数 可決)

福祉教育 常任委員会

12月6日開会
委員6名全員出席

豊能町国民健康保険条例改正

問 保険料の徴収猶予の期間は最長1年であるが、それを過ぎても資力等が

解決できない場合、どうなるのか。

答 最長1年間は変わりませんので、従前よりあり

ました災害・病気・事業の休廃止などの利用に

より、保険料を納める資力がいない方には、徴収猶

予や納付相談などによる対応となります。

(全員賛成 可決)

豊能町国民健康保険事業財政調整基金条例廃止

(全員賛成 可決)

豊能町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例改正

問 この改正により乳幼児医療費助成・ひとり親

家庭医療助成・重度障害者医療助成の申請に関し

て、住民負担は改善する

のか。

答 申請者本人がスマホ等でマイナポータルに接

続することにより、情報提示が可能となるので、

これまで提出していただいていた保険情報や所得

に関する証明などの提示提出が不要となり、利便

性の向上が図られます。

(賛成多数 可決)

一般会計補正予算 (第5回関係部分)

問 マイナンバーカードを紛失された方への特急発行はいつごろから運用されるのか。

答 補正予算を認めてい

ただいてから、スマートフォン等の機器を揃えることとなりますが、運用に関しては、暫定的に現在ある機器により対応しようと思っています。

(全員賛成 可決)

国民健康保険特別会計事業勘定補正予算 (第1回)

(全員賛成 可決)

国民健康保険特別会計診療所施設勘定補正予算 (第2回)

(全員賛成 可決)

介護保険特別会計事業勘定補正予算 (第2回)

問 基金の積立額が今回積み立てると約10億円となる。毎年1億円ずつ積み立てているが、今後の

推移は。

答 直近で把握しているのは約9億3500万円です。

(全員賛成 可決)

討論

第53号議案
一般会計補正予算

反対 高尾靖子

地域公共交通促進事業は、KPIを測る3回目の実証実験だが1か月のみ。初乗り料金は2回目と同額の300円。利用者激減の改善策にならない。住民本位への調整を求める。

反対 菅野英美子

ハニタスの運行には、当初予算と合わせて約1500万円をかけて3月に1か月間だけ実証実験をする必要があるのか。

2回目の4か月の実証実験で、一日26人しか乗車していない。もう答えが出ている。この状態なら一乗車で約1万8000円かかることになる。

地域公共交通計画とは、再生法の5条に規定されたもの。免許返納のため、移動できなくなる深刻な事態がある。実施の努力は認めるが、まちづくりや地域振興の方向性を踏まえて熟議すべき。

また、車両の所有・ハニタス運行に関わる諸経費負担問題を明確に。



賛成 秋元美智子

ハニタスを含むスマートシティ事業は、前町長の「豊能町の負担ゼロ」の説明に反し、いまだに約1億3500万円が未入となっており、車両所有者も、町か、阪急バスか、不明瞭である。

こうした事態を鑑みれば、ハニタス1か月間の運行にむけた約602万円は、いま一度立ち止るべき予算である。

しかし、国がKPIを前提としている以上、先送りすれば大きな負担を課せられる可能性がある。よって賛成するが、早急に問題解決に取り組んでいただきたい。

賛成 才協明美

スマートシティ事業は、国の交付金を受け3か年のKPIの計測を求められている。計測できない場合、交付金の返還が考えられる。

この事業は、塩川前町長が推進してきたもので、寄附金が未だに入金されないなど混乱はあるが、人口減少・高齢化する中、住民の移動手段をどう確保するか地域公共交通の可能性を探るものである。スマートシティ事業に関しては、今後、何を選択していくのかよく考え、熟考していく環境を醸成していくための取り組みの一つと考え賛成する。

賛成 寺脇直子

高齢化・人口減少に伴い、バス事業は全国各地で運転手不足により、減便になっている。本町では、その課題解決に向けてAIオンデマンド交通の実証実験を行ってきた。

AIオンデマンド交通の実証実験は、国にKPIを報告する必要がある。

また、これまでの環境整備に係る経費として、国のデジタル田園都市国家構想推進交付金、大阪

府の補助金、本町の財源を活用している。バスの運転手不足による減便などの課題解決に向けた実証実験に賛成する。

付帯決議

AIオンデマンド交通
実証実験に係る付帯決議

第53号議案、令和6年度一般会計補正予算（第5回）には、AIオンデマンド交通3回目の実証実験の費用である地域公共交通促進事業が計上されている。このAIオンデマンド交通の実証実験も3年目に入っており、この実証実験には、国へのKPI報告もセットで必要である。

したがって、この度の3回目の実験も、当然ながら、実施していくことは必要と考える。

しかしながら、豊能町がハニタスの購入に約800万円もの費用を出しながら、車両の所有者

が不明確な状況となっている。

また、実証実験の内容を周知する広報費用53万8000円については、1か月の実験期間に対し費用が大きいのと思われる。

したがって、車両の所有者の明確化と広報費用の軽減を求める。

以上、決議する。

令和6年12月12日
豊能町議会



第59号議案 議会議員の議員報酬及び費用 弁償等に関する条例改正

反 対 小寺 正人

大阪府と共同して作成
 している豊能町の中長期
 財政シミュレーションは、
 令和7年度以降、一貫し
 て収支不足が発生し、令
 和12年度には財政調整基
 金が枯渇する見通しと明
 記している。

豊能町の財政は依然と
 して厳しい状況が続いて
 いることから、今回の議
 員の期末手当の引き上げ
 についての第59号議案に
 は反対する。

反 対 高尾 靖子

この議案は、人事院勧
 告によって、議員の期末
 手当を引き上げる提案で
 ある。

議員の期末手当を引き
 上げる必要はない。よっ
 て人事院勧告に反対する。

反 対 管野 英美子

私たち地方議員の給与
 は、報酬と呼ばれている。
 報酬とは労働に対する対
 価との位置づけだ。職務
 を果たしていなくても減
 給はない。遅刻をしても
 病気で休んでも、本会議
 では一般質問をしなくて
 も、多くの時間を残して
 も、委員会では発言しな
 くて、また、委員長を
 引き受けなくても、議員
 報酬・期末手当も平等。
 とても不思議なことだ
 と日々感じている。そし
 て生活給でもない。財政
 難でもある。よって期末
 手当の増額には反対だ。

賛 成 永谷 幸弘

これまで、議員の期末
 手当については職員と同
 様に、人事院勧告に準じ
 て支給割合が決められて
 きた。

人事院勧告が下げる時
 は下げてきた。しかしこ
 こ数年は、上げない方が
 良いと言う議員が多かっ
 たため、上げてこなかっ
 た。

反対に、上げた方が良
 いと言う議員が多かった
 ら、人事院勧告以上に上
 げることもありえる。

議員の報酬に関するこ
 とだからこそ、議員で判
 断するのではなく、人事
 院勧告という客観的な基
 準に準じるべきだ。

賛 成 秋元 美智子

議員は退職金がなく、
 議員年金も10数年前に廃
 止されており、収入は
 月々の報酬と期末手当と
 なっている。

退職金同様、期末手当

も不要と主張するなら理
 解できるが、その議論も
 なく、人事院の判断が上
 向いたときだけ反対する
 のは受け入れ難い。

期末手当の支給月額
 第三者である人事院が判
 断しており、そのための
 人事院勧告である。

後に続く議員のために
 も、人事院勧告を受け入
 れるのが、現職議員とし
 ての責務と考える。よっ
 て賛成する。

賛 成 中川 敦司

近隣の市町とは、現在
 0・2か月の差が生じて
 いる。これは人事院勧告
 の数値アップを受け入れ
 てこなかったことによる

もので、国は最低賃金1
 500円を目指しており、
 今後も、人事院勧告の数
 値はアップする可能性が
 ある。

また、58号議案で特別
 職である町長・副町長・
 教育長も4・5か月に引
 き上げている。ただし、

町長は、令和6年度限定
 で引き上げないとしてい
 るが、これは令和7年度
 には自動的に4・5か月
 になることを意味してい
 る。よって賛成する。

賛 成 池田 忠史

近隣の市町の状況を見
 ても、箕面市が4・45、
 池田市が4・35、能勢町
 が4・5、川西市が4・
 5となっているが、豊
 能町は4・3と低い数値
 になっている。この差は、
 人事院勧告で上げる機会
 に上げない方がよいとい
 う議員が多く、数回見
 送ったためである。

期末手当の上げる下げ
 るを決める基準として、
 人事院勧告は一定の基準
 であると考えるので、上
 げる際には見送り、下げ
 る際にはその基準を守る
 のは違ふと考える。

よって、本議案につい
 ては賛成とする。

12月定例会議で賛否の分かれた案件

		議決結果									
議案番号	件名	池田	才脇	吉田	中川	寺脇	管野	永谷	えな	小寺	秋元
		忠史	明美	正子	敦司	直子	英美子	幸弘	なみけい	正人	美智子
53号議案	令和6年度一般会計補正予算（第5回）	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×
59号議案	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例改正	○	×	○	○	×	×	○	○	×	○
5号議会議案	AI オンデマンド交通実証実験に係る付帯決議	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○

*全員賛成の件名については、紙面の都合上、省略しています。

*議長（えなみけい）は、職責により、採決に参加していない。なお、59号議案可否同数となったため議長裁決となりました。

第7回

交通特別委員会

12月16日開会
委員6名全員出席

Aーオンデマンド交通 有償実証運行について

令和6年12月定例会議において、来年3月に1か月間実証実験運行をするための予算が提出され、可決しました。

3回目の実証運行において、今後の実装に向けて実りある実験とするためには、どのように運行したらよいのか協議しました。

なお、3回目の実証実験は令和7年3月の1か月間で、少し変更はあるものの、2回目と同様の内容で運行する予定です。委員からは、運行について、「今までの運行結果で利用が多かったスパーや公共施設では、サービスカウンターや受付窓口等で予約をとれるようにしてはどうか」「利用促進するためのイベン

トなどを行ってはどう

か」また、「利用料金については、前回は割引券があったが今回はどうするか」「今回は定期券を発行してはどうか」「利用促進のためにもう少し安くしてはどうか」などの意見が出されました。

実際に運行するまでには少し時間があるので、今回委員から出された意見も踏まえて運行してもらえよう提案しました。

その他の交通施策について

公共交通の現在の状況について、「利用しているただかないと現状の維持も難しい」といった情報発信を議会からだけでなく、町からも発信してもらえよう前回に引き続き依頼しました。

また、今後の東地区の公共交通のあり方につい

て意見交換を行いました。



スマホで予約

総務建設常任委員会所管事務調査 「コミュニティ・カーシェアリング」 京丹波町にて

11月22日

誰ひとり置き去りにしない地域の熱意と心意気

コミュニティ・カーシェアリングは、地域住民が共同で車を所有し運転代行するもので、交通機関を補足する取り組みとして全国に広がっています。

京丹波町は、人口約1万2500人、面積は豊能町の約8.5倍あります。

「竹野活性化委員会」は、10年前、このままでは地域が衰退する、と竹野地域の区長会をはじめ

消防団・財産区・PTAなど各種団体が一丸となって設立したもので、

週一回のサロンを中心に、誰ひとり置き去りにしない地域交流活動に力を注いでいます。

コミュニティ・カーシェアリングに取り組んだのは、4年前、京丹波町主催の研修会に参加したことからでした

地域で車を共同所有して 外出支援

現在、会員は、対象地域住民約700名のうち30名。車一台を共同所有

し、7人の会員がボランティアで代表・庶務・予約受付・運転を担っています。

予約受付・運行時間は月曜日～金曜日の9時～4時まで。距離に応じて一人一回500円から900円。年間利用者は延べ250人前後、利用料金である預り金は約20万円となっています。ほかに町の補助金、竹野

活性化委員会からの支援金を受けながら車のリース代、保険料、ガソリン代など年間約40万円の経費を賄っています。

営業事業でないため収益も赤字も出せない運営が求められ、7人のボランティアスタッフは、週一回ミーティングを開催、預り金を定期的に精算し、また、運行利用ルールの見直しに努めています。



問 現在、学校の統廃合や公共施設再編を進めている。今後、耐震化が来ていない本庁舎の整備も検討する必要があるため、特定目的基金も含めた幅広い基金の運用について検討してはどうか。

答 地方自治法第241条において、基金の設置目的を達成したものの役割を終えた場合は、整理し処分することができま



低学年のスクールバスの運行について

問 全国各地で、バスの

まちづくりと地域公共交通について

認識しています。

また、廃止せずに、基金

率などを定めて、現金を

一般会計に組み入れて運

用すること可能です。

また、廃止せずに、基

金条例で繰り替え運用の

条項を設けて、期間、利

率などを定めて、現金を

一般会計に組み入れて運

用すること可能です。

また、廃止せずに、基

金条例で繰り替え運用の

条項を設けて、期間、利

率などを定めて、現金を

一般会計に組み入れて運

基金の運用について



寺脇 なお子



財政健全化に向けて

寺脇 なお子



また、廃止せずに、基

まちづくりと地域公共交通について

認識しています。

また、廃止せずに、基

率などを定めて、現金を

一般会計に組み入れて運

用すること可能です。

また、廃止せずに、基

金条例で繰り替え運用の

条項を設けて、期間、利

率などを定めて、現金を

一般会計に組み入れて運

用すること可能です。

また、廃止せずに、基

金条例で繰り替え運用の

条項を設けて、期間、利

率などを定めて、現金を

一般会計に組み入れて運

廃食油の分別回収 町の新たな財源実現



秋元 美智子



住民の手で分別回収した廃食油がキロ20円で

問 6月・9月議会で廃

食油を買収してもらっ

よう提案した。回収業者

と協議したのか。

答 廃食油回収業者とは

最終的にリサイクル還元

金として、1キロ当たり

20円を本町に支払って

もらうことになりました。

昨年度の分別回収実績

1670キロをベースに

計算すると、食用油は水

より比重が軽く、1キロ

当たり約1.1リットルとな

るため、1.1で割ると約1

500キロ、3万円の収

入になると考えています。

中学生対象に

血圧測定・血液検査を

問 新潟県阿賀野市は、

18年前から中学2年生を

対象に、血圧測定や血液

検査を実施して生活習慣

病の早期予防事業に取り

組んでいる。ほぼ毎年、

3〜4割の生徒が血糖値

や脂質、血圧の異常判定

を受け、すでに生活習慣

病の兆候がでている。

生徒児童の健康を考え

ると深刻な問題である。

ぜひ、豊能町も取り組

るため、1.1で割ると約1

むべきでは。

答 阿賀野市の取り組み

は見習うところがありま

すが、本町としては、法

令に規定された健康診断

をベースに、それぞれ児

童生徒に適切な指導を行

い、健康の維持に努めた

いと考えています。

問 現在、豊能町の中学

2年生は何人か。250

0円としても、決して大

きな金額ではない。

答 4月1日現在、東能

勢・吉川中学校あわせて

105人になります。



中学生から生活習慣病の早期予防を

問 ほとんどの高齢者が何らかの整形外科疾患を抱えている。町内に整形外科医（医院）を誘致できないか。

答 心当たりの先生を回っています。また、池田市医師会等のネットワークも活用し取り組んでいきたいと考えていきます。

問 妊娠中の方が安心安全に通院することを支援する、タクシー費用の助成はできないか。

安心して暮らせるよう

住みたい町にするために



さいわき 明美



問 現状、移動は家族のサポートなどにより、自家用車の利用が多いと考えていますが、出産時などの予定を調整することができないため、苦勞されているケースもあると考えています。財政面を考慮し、総合的に考えていきます。

答 現状、移動は家族のサポートなどにより、自家用車の利用が多いと考えていますが、出産時などの予定を調整することができないため、苦勞されているケースもあると考えています。財政面を考慮し、総合的に考えていきます。

総務建設常任委員会
所管事務調査の所見で



空き家の情報をSNSで

問 してはどうか。

答 確かに、見やすい、手軽さという利点はあるので、参考にしていただきたいと思っています。

問 移住・就職応援事業
大阪府内からも

答 この事業内容は、大阪府外からの移住者に助成するとなっているが、府内からでも、本町で生まれ育った、または両親が在住しているなどの条件も対象にならないか。

問 今年から始めた事業です。その辺は柔軟に検討させていただきま

生活者の観点で持続可能な公共交通を



高尾 靖子



問 公共交通事業者と熟議で
利便性の改善を

答 AIオンデマンド交通ハニタスの実証実験は、1回目は無料で2回目は、初乗300円の有料で利用者が増減した。3回目も同額料金で、来年3月に実施予定だ。2回目の結果を踏まえ、能勢電鉄や阪急バスと今後の公共交通について熟議すべき。

問 公共交通の現状は、コロナ禍前の水準に戻らず、各交通事業者の収入面で経営の逼迫を認識し



住民の移動ニーズを満たすハニタスに

ています。運転手不足に対応する待遇改善や燃料費、物価高騰等、10月からの運賃改定や収支改善に取り組まれています。

人口減少の状況で能勢電鉄の一日当り乗車数も3駅で平成15年のピーク時に比べて約60%減少です。バスも全て赤字路線です。

能勢電鉄とも定期的に意見交換しており、阪急バスも実証運行に際し、状況を聞いています。地域全体で公共交通を支えていけるよう取り組んでいきたいと思っています。

問 公共交通は益々重要

になる。住民負担の軽減で安心して暮らせる施策が求められる。また、介護保険の基金を利用できないのか。

答 高齢者の運賃の助成
必要性は認識

助成は65才以上の介護保険の認定者・おでかけくんの利用資格者は可能で、阪急バスのグラウンドパス等がありますが、運賃の助成支援の必要性は認識しています。

介護保険の基金利用については慎重に取り扱いたいと思っています。

何が残った スマートシティ事業



池田 忠史



スマートシティ事業について

問 8つの事業を約4億円かけて行ったが、ソフト・ハードなど、何が残ったのか。

答 ハードを動かすためにソフトもセットになっているものもありますので切り分けは難しいですが、あまり残っていないという認識です。

問 アプリを今後も使う場合、開発業者との契約が必要か。

答 引き続き利用する場合



権利のない とよのんコンシェルジュ

合や、メニューの変更などを行う場合、CSPF Cとの協議が必要であると認識しています。

問 公園のAIカメラや子育て支援のパソコンなどの現状は。また、ほかの用途で使えないのか。

答 カメラは電気代などの予算が入っていないの
で見る事ができません。
パソコンについても5台
保管しています。

備品は令和4年度のス
マートシティ事業で補助
金を得て調達したもので
目的と違う用途で使用する
場合には国との協議が

必要です。

東能勢小中学校の
クラブ活動について

問 今年度いっぱい女子の運動部が2つなくなると聞いている。今後のクラブ活動についてどう考えているのか。

答 国のガイドラインにのっとり考える必要があると考えます。

問 吉川中学校と合同で
してはどうか。

答 以前、試行的に行いました。が、結果的に現在行われていません。状況も変わっていますので再度検討したいと思います。

安全・安心の地域づくりを



なが谷 幸弘



ときわ台中央線の歩行者の安全対策について

問 現在、ときわ台中央線の側溝には蓋が設置されていいない。歩行者の安全確保の点から、蓋掛けが必要ではないか。

答 道路幅員が約7 mあり、歩行者と車両の通行には十分余裕があると考
えています。

問 歩行者の安全確保を
考えて、路側帯に白色区
画線の施工は可能か。

答 吉川中央線を挟んで
東側は歩車道境界ブロッ

クがありますが、西側は
区画線ありませんので
検討します。

医療用ウィッグ購入費用の助成について

問 令和6年6月定例会
議で、「がん患者の方が、
尊厳を持って地域で生き
ることのできる社会の実
現を目指す」との答弁を
いただいた。現在の状況
について伺う。

答 現在、がん患者の方の生活の維持向上を目指して、医療用ウィッグや乳房補装具の購入費用の一部助成を検討しております。



歩行者の安全確保に白色区画線の施工を

令和7年度の制度実施に
むけて調整しています。

多胎妊婦の妊婦健康診査の助成拡充について

問 令和6年6月定例会
議で、「府下の実施状況
特に近隣市町に詳細を聞
いて課題を整理し、早期
の制度実現に取り組みま
す」との答弁をいただい
た。現在の状況について
伺う。

【答】 多胎妊婦一人について、5回程度まで受診回数を増やせるように検討しており、令和7年度の制度実施に向けて調整しています。

豊能町も稼げる体質に



中川 あつし



自然災害リスク制御システム開発で町にお金を

問 戸知山にて、大阪大

学が実験している「自然災害リスク制御システム」の開発の状況は。

答 令和4年当初はコンクリートのL型擁壁・のり面、さらにその擁壁の前面にセンサーを設置し、実験がスタートしました。

その後、ブロック積み擁壁、現在工事中の石積み擁壁を加え、長寿命化センサーを開発予定です。



花巻市旅先納税(花巻観光協会HPより)

問 このセンサーが製品

化された場合、売り上げの一部を町にいただくことや、提供している実験場所の地代を求めているがどうかと提案していたが。

答 今年度から借地料をいただいています。また、

大学側との共同出願で、知的財産権の取得を考慮しており、商品化できた場合、ライセンス料で収益をあげることもできると考えます。

旅先納税制度の導入でふるさと納税の増収を

問 岩手県花巻市では、現地を訪問中にふるさと

納税ができる「旅先納税制度」を導入している。

旅先納税すると電子商品券がその場で入手でき、市内の加盟店で即利用できる。豊能町も参考にしたい、ふるさと納税の増収を図ってはどうか。

答 本町は観光資源が少ないため、旅先納税制度の導入は、費用対効果の面からも難しいと思います。しかし、ふるさと寄附の返礼品の多様性や交流人口の拡大にもつながるメリットもあると考えており、今後の参考にしていきたいです。

財政非常事態宣言の発出を



小寺 正人



財政非常事態宣言を

問 大阪府と共同して豊

能町中長期財政シミュレーションを作成している。

令和7年度以降、収支不足が発生して、令和12年度には財政調整基金が枯渇する見通しであり、令和14年度には累積赤字が早期健全化基準を超えて、財政健全化団体の状態になるとしている。

一刻も早く財政非常事態宣言を発出して、この

現状を住民に周知することが必要と思うが。

答 令和4年度の決算に基づいて令和5年度に作成したシミュレーションでは、人口の減少に伴う税収減、社会保障費の増などにより厳しい推計結果となっています。

本町は基金の取り崩し

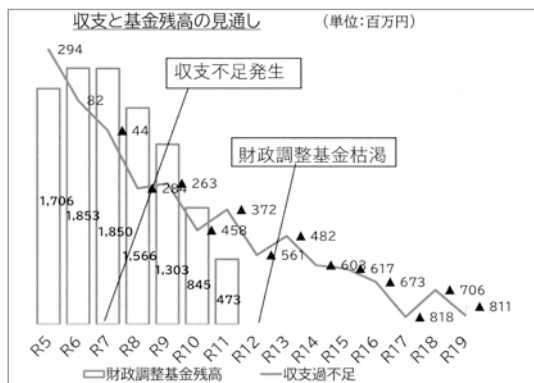
による財政運営を行っておりますので、厳しい財政状況に変わりません。

その要因は、人口の分布が東西に分かれている地理的要因、また、人口急増期に整備した公共施設をそのままの規模で運

営していますので、人件費や維持管理費、運営経費が大きな負担となっています。

非常事態宣言を発出することにより、住民の皆さまに混乱を招かないように課題解決に取り組むことを最優先に考えています。

公共施設の規模、施設の数を抑えて、建設事業や施設維持管理費の将来負担を圧縮あるいは減らすことにより、持続可能な財政運営を目指していきたいと考えています。



収支と基金残高の見通し (豊能町HP)

答 議員の意見は重く受け止める必要がありますが、通学区域審議会を令和7年度当初に複数回開催し、答申をいただき、

問 令和2年10月、子育て世帯の増加策を示すことと東西どちらの学校にも行けるような選択を条件に、東西の学校の基本設計を賛成した議員がいる。そして可決。重く受け止めてほしい。通学区域審議会の開催は。

東西どちらの学校にも通えるように

令和8年度 児童・生徒の通学は



すがのえみこ



問 教育委員会で決定します。結果によっては転居を考えている人がいる。結論はいつ出るのか。

答 夏頃までに方向性を定め、周知する必要があります。

問 東地区で昨年生まれ子どもは4人。複式学級2つで統合という考えに変わりはないのか。

答 その時に学校の方向性についても一度考えます。

新光風台から吉川中学校までの児童の通学

問 バス通学での体力低下も心配だが、近年の異

常なまでの暑さ、新光風台からの通学は、5月中旬から10月ごろまで期間限定でバス通学を考えてはどうか。

答 児童生徒の通学距離

については小学校4キロメートル、中学校6キロメートルと法令に規定されています。気候状況の変動など、一律に法令どおりにはいかない状況であることは認識しています。全ての児童・生徒が安心安全に登校できるような検討し、来年夏までに結論を出したいと考えています。



有効に使いたい幼稚園バス

ネット社会から子ども を守ろう



吉田 正子



子どものスマートフォンに対する安全対策

問 ネット社会の危機意識を高めるための指導が行われているのか。

答 小学校では、保健の授業の中でインターネットによる犯罪被害と言う形で学習をしています。また、豊能警察や大阪府警の少年サポートと連携して、防犯教室を開催、スマホ教室では、SNSトラブルや犯罪に巻き込まれないための学習をしています。

問 ネットの危険性から子どもを守るためには、

学校側と保護者の連携が必要であるが、実施しているのか。

答 学校と家庭が一体となり、情報モラル教育を推進することが必要です。

そのために学校は、子どもたちが授業で学んだことを保護者が把握できるように、学校により・学級通信・授業参観・学級懇談会等、子どもたちと保護者が一緒に学習する機会を設ける結果、家庭でのルール作りに働きかけています。

人と動物の共生社会をめざして

問 全国で野犬が問題になっている。

答 今のところ環境課で野犬に関する苦情、相談等は現在ないという状況ですが、動物の糞尿の苦情といった相談は日々寄せられています。

今後とも適正な飼い方、飼い主のモラルの啓発について努めていきます。



スマホを見過ぎないようにスマホに鍵を

北部地区議長会議員研修会 (能勢町浄るりシアター)

11月14日



「対話する議会・議員」
「SOUNDカード」
を活用した、住民との意見交換、議員間討議とのテーマで、青森大学社会学部の佐藤淳教授による講義と演習を受けました。

講義では、①議会と市民との対話②議員同士の対話③議会からの政策提言④住民福祉の向上との4項目を順次実施し、政策サイクルを形成すること

とが重要とのことでした。このなかで市民や議員同士の対話に、SOUNDカードを活用する方法について説明がありました。

このカードは、どのようなミーティングにおいても「心理的安全性」を高め、「目指したい方向性」を見える化し、「具体的な行動」を決定するためのミーティング進行補助ツールです。

そして、このカードを使用した演習となり、好きなカードを選び、「各々の町議会」とのテーマで、各自の議会についての対話を行いました。

SOUNDカードは初めての体験でしたが、各カードにはいろいろな項目が記載されており、自



由にカードを選択することができるため、話すことが苦手な場合でも、対話を円滑に進める有効な手段になるものと思いました。



資源循環型堆肥化事業 への取り組みに向けた 提言書の結果

令和5年12月に、資源循環型堆肥化事業に取り組むことの「提言書」を町長に提出しました。

これは、生ごみ・剪定枝・汚泥・し尿などを微生物の力によって堆肥化し、そこから生み出された肥料を使って、米や作物を育ててもらい、環境に配慮した地球にやさしい循環型の社会を作るという事業です。

可燃ごみを減量できるだけでなく、堆肥化された肥料を農家に配ること、わずかながら農家への支援にも繋がります。肥料が余れば、近隣に売ること可能になります。

す。このような効果が期待できます。

議会は、令和5年7月に、この事業を先進的に進めている栃木県益子町を総務建設常任委員会で見学。また、設備メーカーを招いて説明も受け、議員全員がこの事業は進めた方がよいという結論に達しました。

提言については、町長の指示のもと、担当部署が、設備メーカーにヒアリング、また近隣で稼働している堆肥化工場（滋賀県）を視察し、豊能町で堆肥化事業に取り組んだ場合をシミュレーションしました。

調査内容は、建設費をはじめ法例関係・採算性など多岐にわたり、候補地も「戸知山など2か所」検討されています。

建設費は、イニシャルコストで約4億円、うち最大で、交付金対象事業費の3分の1は過疎地域への交付金を活用できま



資源循環型堆肥化事業は難しい

すが、それには令和12年度末までに施設建設工事を完了させなければなりません。さらに「総合まちづくり計画」「都市計画マスタープラン」を見直し、「循環型社会形成推進地域計画」を策定する必要があります。このほか詳細設計や確認申請などを含めると、工事着工するまで約5年の月日を要することを予想しています。

また、この間、公共施設再編事業と重なるなど、総合的に考えると、豊能町単独での資源循環型堆肥化事業は、現時点では難しい状況であることがわかりました。

第68回町村議会議長全国大会 令和6年11月13日

11月13日に東京のNHKホールで開催された「第68回町村議会議長全国大会」に出席しました。本会では、町村が抱える課題を解決するために、全国の町村議会の議長が集まり、次年度の国の予算編成及び施策に関する要望の説明がありました。そして、令和7年度の国の予算編成及び施策に関する要望として28件の決議を採択しました。

主な決議は

「地域特性に応じた脱炭素社会の実現」
「地方創生とデジタル化のさらなる推進」

香川県まんのう町議会議長が本町を視察

令和6年11月7日

香川県まんのう町議会議長が本町を視察。教育民生常任委員会の皆さまが、「小中一貫教育」の視察のために来町され

「長期的な復興支援と災害対策の確立」

「地方交付税等の一般財源総額の確保・充実」

「少子化対策及びこども・子育て政策の推進」

「地域の実情に沿った分権型社会の確立」

その他に、次の2件の特別決議を採択しました。
「東日本大震災及び令和6年能登半島地震等からの復旧・復興、原子力発電

異校種（各小中学校間）交流や、保幼小中異学年交流、とよの未来科などの取り組みについて関心を持たれていました。



来賓 石破茂内閣総理大臣祝辞



第3回猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会臨時会報告 11月12日(火)

主な議案

- 議長改選による議長選挙
川西市議会の田中麻未議員を選任しました。
- 副議長改選による副議長選挙
能勢町議会の森田則子議員を選任しました。
- 監査委員の選任について
平田要議員の監査委員辞職に伴い、猪名川町議会の末松早苗議員を選任しました。

第5回豊能郡環境施設組合議会定例会報告

11月27日(水)

主な議案

- 監査委員条例の一部を改正する条例について（全員賛成 可決）
地方自治法の改正に伴う監査委員条例の規定の整備
- 令和6年度一般会計補正予算（第4号）（全員賛成 可決）
事務用パソコン等の備品購入費 165万円
- 令和5年度一般会計歳入歳出決算認定について（全員賛成 認定）
歳入総額 4,830万7,230円
町の負担金 2,734万3,000円
- 監査委員の選任につき同意を求めることについて（全員賛成 同意）
長部 研太郎（大阪市北区）

第3回大阪府後期高齢者医療広域連合議会定例会報告 11月6日(水)

- 後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の件
 - 第4次広域計画変更の件
 - 令和5年度一般会計・後期高齢者医療特別会計決算認定の件
- 上記議案3件は、すべて原案どおり可決・認定されました。

総務建設常任委員会所管事務調査

令和6年10月23・24日

少子高齢化が進み、人口減少と生産性の低下が問題になっています。

移住定住者による地域の発展に繋げる取り組みについてや、学校跡地の利活用について、基本的な考え方・検討事項・スケジュール等について調査しました。

移住・定住の取り組み (香川県宇多津町)

移住・定住対策補助金として4つの制度がありなかでも新婚等世帯貸付補助制度は、町単独事業で1万円を2年間補助します。毎年30世帯ほど新規申請があるようです。

また、若者の結婚生活を応援するために住宅費・リフォーム費の一部を補助する、結婚生活支援補助制度は、年間10件ほどの申請があります。空き家バンクと地域の不動産業者とは常に情報共

有しており、広報では総務課・まちづくり課が率先してラインやフェイスブック・XなどSNSで情報発信をし、これらが影響して若者の移住・定住を獲得しているようです。



学校跡地の利活用 (香川県まんのう町)

まんのう町の旧琴南中学校跡地の利活用では、人口減少に歯止めをかける施策を住民自らの手で何とかしようと発足したのが住民グループ「ことなみ未来会議」です。「できることは、やり

たいことは自分でやる」をコンセプトに一般公募で検討委員会5部会(高齢者部・子育て部・スポーツ部・文化活動部・農業部)を設置し検討・協議を重ね、提言書を町長に提出しました。財産処分手続、地域活性化拠点計画策定を経て、地方再生拠点整備が認定され、交付決定されました。



どの取り組みが将来にどう役立つかは未知数です。住民同士が支え合い地域を良くしたいとの思いは共通の願いであります。いろいろな角度で、参考になった視察でした。

福祉教育常任委員会所管事務調査

令和6年10月30・31日

豊能町は、少子高齢化のため人口減少が著しく、大阪府下でワースト1の人口減少率となっている。また、高齢者だけの世帯も増え、世代間交流も減少しています。

そのため、子育てサービスの充実した入善町と、富山型デイサービスを提供している富山市にて所管事務調査を実施しました。

婚活から子育てまでの各種事業 (富山県入善町)

入善町では、子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠期から子育て期にわたるまでの総合的支援を行っていました。また、各種補助事業を行い、金銭的な負担軽減にも取り組んでいます。財政の厳しい本町では多くの補助事業は難しいと考えますが、豊能町に

あった内容で何か補助事業を提案できればと思います。



富山型デイサービス (富山市)

富山市では年齢や障害の有無にかかわらず、だれもが一緒に身近なサービスが受けられる富山型デイサービスが提供されています。

様々な人が一つの場所で過ごすことができるので、高齢者や子どもにとっては、世代間交流ができた、障害者にとっては居場所づくりができたりといった環境が整え

られていました。全国的な広がりを見せているので、今後、豊能町でもこういった事業所ができればと思います。



消防出初式

1月12日 東ときわ台小学校



はたちのつどい

1月13日 ユーベルホール



マチイロホームページ

スマートフォンで手軽に「議会だより」を読んでいたけます

令和7年3月 定例会議予定

3月4日(火)	9:30~ 定例会議開会
3月5日(水)	9:30~ 町政運営方針に対する質問
3月6日(木)	9:30~ 本会議(一般質問)
3月7日(金)	9:30~ 本会議(一般質問)

※アプリは無料ですが、アプリのダウンロードや受信に通信料が発生する場合があります。



在職35年表彰 高尾 靖子 議員

令和6年度 市区町村議会議員
総務大臣感謝状

編集後記

輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年末、吉川中学校陸上部男子駅伝チームが、全国大会に出場されました。テレビ中継を見ていて、元気をもらいました。今後の活躍も楽しみにしています。

さて、12月定例会議から、本会議・一般質問に加え、常任委員会・特別委員会もインターネットによるライブ配信・録画放映を行っています。

「議会だより」の紙面では、伝えきれない論戦を見て聞いていただければ幸いです(管野)

広報特別委員会

委員長	永谷 幸弘
副委員長	管野英美子
委員	池田 忠史
	才脇 明美
	秋元美智子
	高尾 靖子

この議会だよりは再生紙を使用しています。

大阪府豊能町 議会だより

第152号 令和7年1月25日

この広報誌は、議員6名で延べ5日間編集作業を行い、8,700部作成。1部あたりの単価は25.28円、配達に12.0円かかっています。16